

日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座 —多文化共生の地域づくりをめざして—

港区

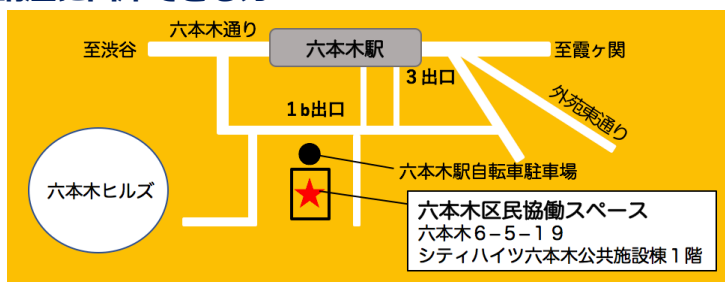
この講座では、日本語学習支援や文化理解を深める方法を学ぶことで、地域に住む外国人との交流やコミュニケーションについて考えます。
講義だけではなく、ワークショップ、事例の検討などを通して、受講者同士がともに考え、話し合いながら学んでいく講座です。

日程 2019年9月28日、10月12日、10月26日、11月9日、11月16日 土曜日全5回

対象 外国人支援や日本語ボランティア、外国人との地域活動を行っている方や
行う意思のある方で、全5回全ての講座に出席できる方

場所 六本木区民協働スペース

参加費 無料（要事前申し込み・定員30名）
*定員を超えた場合は抽選



地下鉄日比谷線「六本木」駅1b出口より徒歩1分
地下鉄大江戸線「六本木」駅3出口より徒歩3分

日時

内容・講師

- | 日時 | 内容・講師 |
|---------------------------------|--|
| 第1回 9/28 (土) 13:00-16:30 | 学習者の背景理解 講師：神吉宇一 日本社会における外国人や日本語教育の状況はどうなっているのでしょうか。データを元に、現状について概観します。 文化とは、多文化とは、多文化共生とは 講師：山西優二 人間はなぜ文化をつくり出すのでしょうか。ワークショップを交えつつ、自分・他者と出会う中で、文化・多文化・多文化共生について考えます。 |
| 第2回 10/12 (土) 13:00-16:00 | 相互理解と学習支援のためのコミュニケーションの基礎 講師：西山陽子・萬浪絵理 日本語でのやりとりに慣れていない外国人と相互理解を図るため、また、適切な学習支援を行うためには、コミュニケーションに工夫が要ります。話し手・聞き手としての基礎「やさしい日本語」と「聴く・待つ」方法を演習で学びます。 |
| 第3回 10/26 (土) 13:00-16:00 | 市民活動としての学習支援の方法とコミュニケーションのための日本語の特徴 講師：矢部まゆみ 日本語学習支援のために、地域ボランティアとしてできる活動はどのようなもののでしょうか。役立つ素材には何があるのでしょうか。相互理解を深める対話活動を体験しながら、日本語学習の支援をしていく方法を探りましょう。外国人の視点から見た日本語の特徴についても考えます。 |
| 第4回 11/9 (土) 13:00-16:00 | 相互理解を深めるための地域日本語教室の実践 講師：矢崎理恵 多様な人々が集まり、共に活動する「地域日本語教室」では、実際にどのような活動が行われているのでしょうか。「教室」はどのような課題を抱え、どのようにその課題を解決しようとしているのでしょうか。相互理解を目指した日本語教室をどう展開させていくか、実践事例を知り、参加者皆で活動を体験しながら考えてみましょう。 |
| 第5回 11/16 (土) 13:00-16:00 | コミュニケーション・相互理解・日本語学習支援と「多文化共生の地域づくり」 講師：神吉宇一 コミュニケーションを通して相互理解を深めたり、日本語学習支援を行ったりするには、どのような取り組みをすればよいのでしょうか。5回の研修のまとめとして、これまでの学びをふりかえり、これからどのように「多文化共生の地域づくり」に関わっていくことができるかを考えていきます。 |

講師プロフィール

神吉 宇一 武蔵野大学大学院言語文化研究科准教授

社会人のキャリアのスタートは小学校教師、その後さまざまな仕事を経て、2013年より大学教員に。2016年より現職。外国人が増加する日本社会において、安定した社会の構築と人々がより平和で幸せに生きていける地域づくりに興味がある。日本語教育学会副会長、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員等。

山西 優二 早稲田大学文学学術院教授、日本国際理解教育学会理事、かながわ開発教育センター代表理事他

NGOの立場から開発教育や人権教育に携わる。30数年にわたって、地域、アート、ことば、難民といった切り口から、平和・公正・共生の文化づくりとそのための学びづくりに携わってきている。「文化とは、多文化とは、多文化共生とは」では、文化とは何か、自分の文化と出会うことの大切さ、について考えたいと思います。

萬浪 絵理 港区日本語教育コーディネーター他

20年の日本語教師生活で日本語教育機関に足りないと感じていたものを、市民参加の地域日本語教室に見出す。現在は複数の地域で日本語学習支援事業の企画と運営を担当し、相互理解と日本語学習の両立をめざした対話活動を模索中。少しのコツと工夫で、日本語活動の楽しさと意義はぐっと増す、と考えています。

西山 陽子 横浜国立大学非常勤講師他

地域日本語教室での日本語ボランティア経験を経て、現職に就く。留学生、技術研修生、難民、EPA介護福祉士候補者、定住者など様々な人が日本語を学ぶ場に携わる中で、多様な人々や日本語を受けとめ共に楽しむ場づくりに興味を持つようになりました。手の届く範囲でできることをしていけたらと思っています。

矢部 まゆみ 横浜国立大学非常勤講師、明治学院大学非常勤講師他

日本語教育や多文化共生のためのコミュニケーション教育に携わっています。オーストラリアの中学校で多言語・多文化教育としての日本語教育に携わった際に、隣人として地域の人々に支えてもらった経験から、多様な人々がつながり支え合い自分らしく力を発揮していけるまちづくりを願い、そのためにできることを探っています。

矢崎 理恵 社会福祉法人さぼうと21 学習支援室コーディネーター

大学卒業と同時に青年海外協力隊に参加し、日本語教師のキャリアをスタートさせる。現在は日本に暮らす（帰国の選択肢の少ない）難民の方々の、自立支援の活動に携わっている。「学習者もボランティアも、どうしたら「本領発揮」できるだろうか。そのために私は何ができるだろう」と考える日々を過ごしています。

●注意事項①

本講座は、NPO法人CINGAが受託する「文化庁 日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」の研修を港区において実施するものです。

講座では、カリキュラムの有効性検証を目的として、講座の様子を録音・録画する場合があります。また、講座内でのアンケートや振り返りデータをカリキュラム改善のために使わせていただきます。データは個人が特定されない形で文化庁に提出するとともに、研究会等での発表に使用する可能性があります。以上、ご理解・ご了承のほどお願い申し上げます。

●注意事項②

2018年度、2019年度の港区の「やさしい日本語」講座を受講済の方には、本講座は内容が重複するため適しません。詳しくは港区国際交流協会までお問い合わせください。

また、日本語教室で活動中の方は教室単位で別途お申し込みください。

申し込み

締切 9/25 先着順

<メール>

nihongospt@minato-intl-assn.gr.jp

申込必要事項

- ①氏名
- ②フリガナ
- ③連絡先電話番号
- ④区内在住・在勤・在学・その他の区分

問い合わせ

一般財団法人 港区国際交流協会

03-6440-0233

nihongospt@minato-intl-assn.gr.jp

皆さまのご参加を
お待ちしております！

